

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	国道299号沿線魅力発掘・再発見事業
事業主体 (連絡先)	メルヘン街道協議会 (事務局：ちの観光まちづくり推進機構 02660-78-7631)
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,087,424 円 (うち支援金： 1,669,000 円)

事業内容

○メルヘン街道通行手形とイベントパンフレットの発行
メルヘン街道開通式と中部横断自動車道八千穂高原 IC 開通にあわせ割引クーポン券付き通行手形、イベントパンフレット発行。またパンフレットに掲載されている店舗でスタンプを集めると景品が当たるスタンプラリーの台紙も発行。

○メルヘン街道魅力発掘・再発見事業

3市町の地域住民が自らメルヘン街道沿いの自慢の場所を写真や動画で提出していただく。提出された素材から住民で作る委員会で魅力ある場所を選出し、メルヘン街道協議会のキャラクターを重ね、ホームページやSNSで発信していく。キャラクターを重ねることで親しみや愛着を持ってもらう。

メディアへの告知、アピール上記、開通式にメディアを招聘してプレスリリースを催した。

○苔の森おかしコンテスト

苔をイメージしたお菓子を三行政の住民の方に考えていただく。応募された中からメルヘン街道協議会のお菓子として商品化していく。

○ぼり旗作成

3市町にまたがる街道を盛り上げるためのぼり旗を作成し配布設置。クーポンが利用できる店舗が一目わかるように「のぼり旗を」設置

事業効果

国道299号沿線の三行政をまたいだ地域が連携をすることで、国道299号沿線の名所を相互に共有ができ、効果的な観光PRができた。

白駒池、苔の森を中心に注目が集まったことから二股カラ松から生まれた「森の妖精」キャラクター名を募集。また苔をイメージしたスイーツコンテストを開催。入賞作品にはメルヘン街道のお菓子として既に商品化されている。

北八ヶ岳「メルヘン街道」の名に恥じない自然環境が優れたスポットを観光資源として再発見ができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・三行政（茅野、小海、佐久穂）のより一層の連携プレイ
- ・街道沿線での滞留時間の構築
- ・繁忙時期の二次交通の増便及び駐車場の拡張
- ・SNSの活用（特典なども設け積極的な発信）

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



(メルヘン街道沿線のぼり旗)

【目標・ねらい】

- ① 八千穂高原 IC 開通による誘客
- ② 三行政（茅野、小海、佐久穂）の連携した PR
- ③ R299 の街道沿線飲食店の意識改革

※自己評価 【B】

【理由】

前年の DC キャンペーンの盛り上がりから大幅な減少が懸念されていたが想定より良かった。
イベントパンフは効果あったが SNS 等の発信がもう一つかみあわなかった。